

福島経済マンスリー

10月の県内経済は、一部に弱い動きが残るものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 平成26年10月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、一部に弱い動きが残るものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では6ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、7ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月ぶりで前年を下回ったものの、請負金額と保証金額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、床面積が3ヵ月連続で前年を下回ったものの、棟数および工事費予定額がそれぞれ3ヵ月ぶりで前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は合計で5ヵ月ぶりに前年を上回った。内訳をみると、持家が5ヵ月連続で前年を下回ったが、分譲が2ヵ月連続、貸家が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が2ヵ月連続、前年比が2ヵ月ぶりでそれぞれ上昇した。業種別の前月比をみると、13業種で上昇し、6業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を上回るとともに、原数値が前年を上回った。また、雇用保険受給者実人員は13ヵ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は9月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		26年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	3.7	2.7	4.0	6.2	5.0	3.0
	乗用車新車登録台数	△ 10.3	△ 1.6	△ 3.0	△ 18.1	△ 4.9	△ 10.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	219.0	67.7	17.8	6.0	△ 26.7	58.7
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	288.4	124.0	△ 41.3	△ 17.6	33.1	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	16.8	△ 1.9	△ 19.0	△ 14.1	△ 12.1	0.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注1}	3.5	9.5	0.9	0.0	2.5	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注1}	0.18	0.15	0.19	0.16	0.17	0.20
	雇用保険受給者実人員	△ 21.0	△ 16.6	△ 21.8	△ 21.1	△ 17.2	△ 20.5

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		26年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	9.0	△ 0.7	2.1	4.8	△ 10.4	4.1
	乗用車新車登録台数	3.2	23.7	△ 0.3	△ 30.4	55.6	△ 18.9
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	68.5	△ 7.9	16.4	△ 35.4	0.3	△ 1.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	61.8	43.0	△ 59.8	△ 23.0	40.5	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	23.8	28.7	11.5	△ 33.2	△ 4.5	12.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注2}	△ 2.0	2.0	△ 4.6	2.2	1.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注2}	0.05	0.00	△ 0.01	△ 0.02	0.02	0.02
	雇用保険受給者実人員	7.6	0.8	0.8	△ 4.9	△ 1.0	△ 6.9

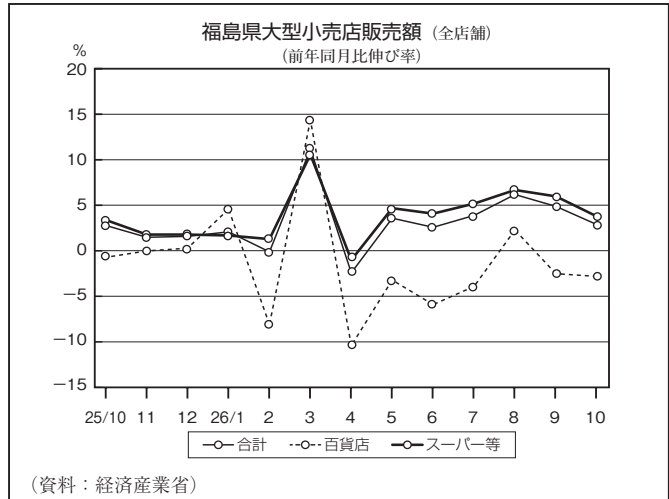
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

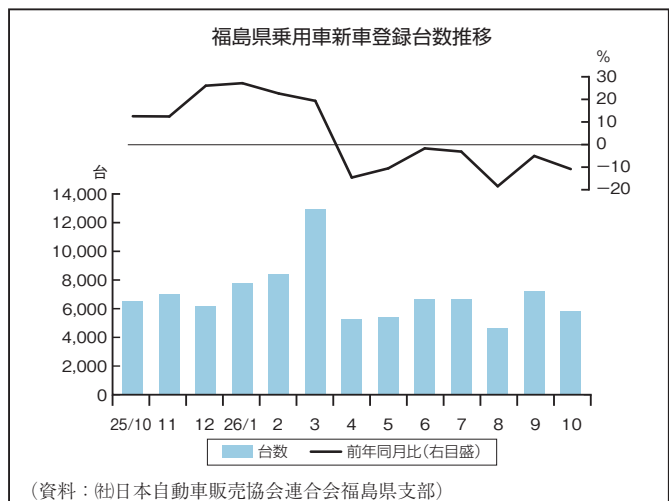
大型小売店：6ヵ月連続で前年比増

10月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で203億52百万円（前年同月比+3.0%）と6ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品が前年を下回ったことなどから、合計では同△2.8%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったため、合計では同+4.0%となった。



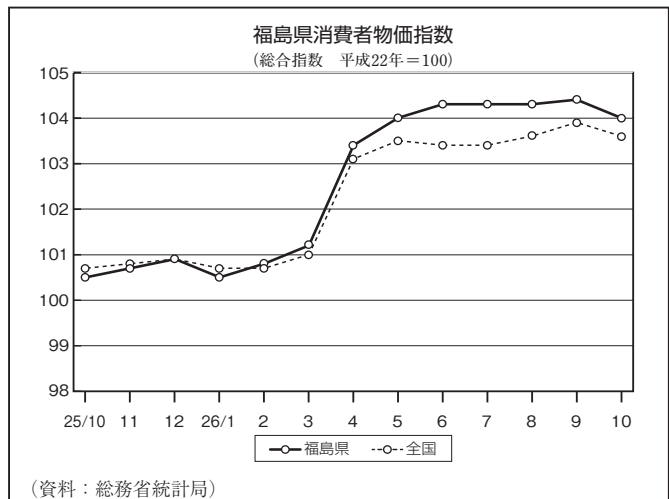
乗用車販売：7ヵ月連続で前年比減

10月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,847台（前年同月比△10.6%）となり、7ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通車が1,732台（同△6.7%）、軽乗用車が2,268台（同△4.8%）とともに2ヵ月ぶり、小型車が1,847台（同△19.6%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。



消費者物価指数：前年比で上昇

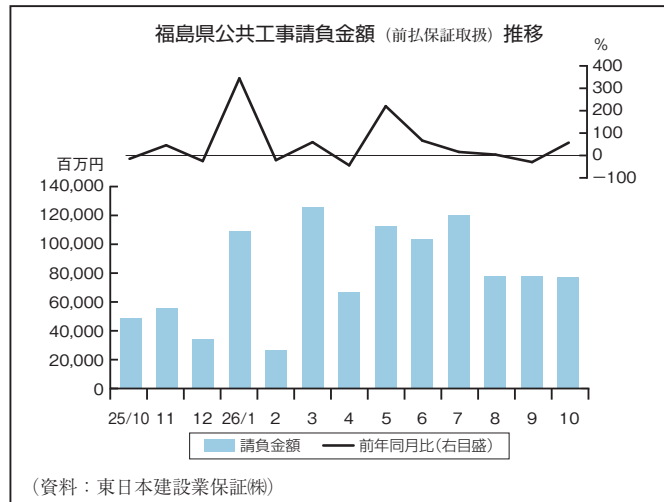
10月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、104.0と前月比△0.3%、前年同月比+3.5%となった。費目別に前月比で見ると、「食料」の102.6（前月比△1.0%）など5費目が下降したものの、「被服及び履物」の106.6（同+0.5%）など4費目が上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比増

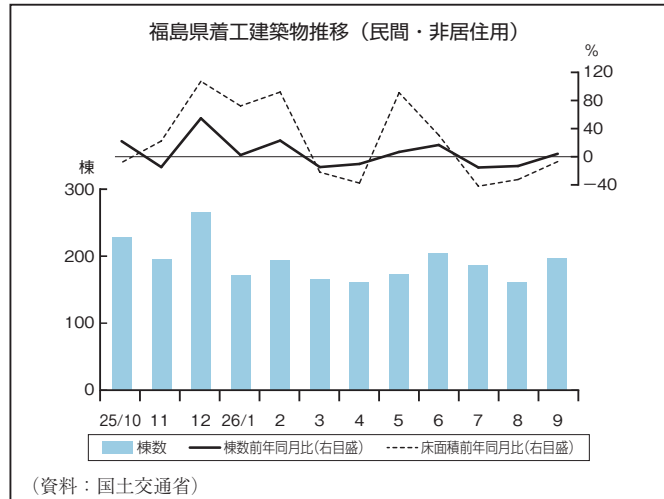
10月の公共工事前払保証取扱は、件数が872件（前年同月比△6.6%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。一方、請負金額は777億38百万円（同+58.7%）、保証金額は399億94百万円（同+70.8%）と、ともに2ヵ月ぶりで前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が3ヵ月ぶりで前年比増

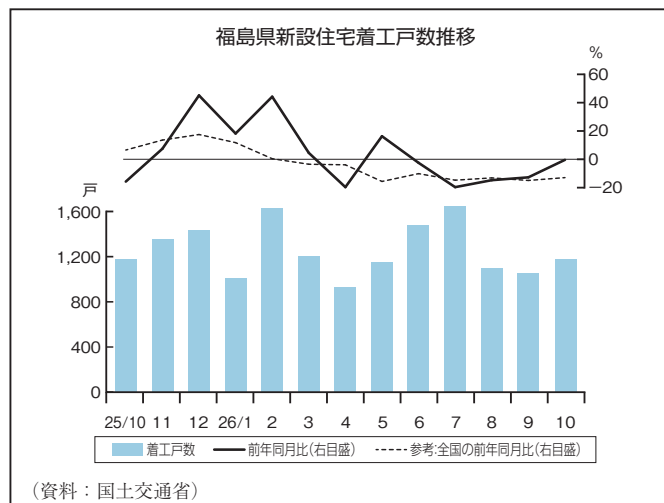
9月の建築着工（民間・非居住用）は、床面積が79,609㎡（前年同月比△6.8%）と3ヵ月連続で前年を下回ったものの、棟数が197棟（同+4.2%）、工事費予定額が137億83百万円（同+33.1%）と3ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：5ヵ月ぶりで前年比増

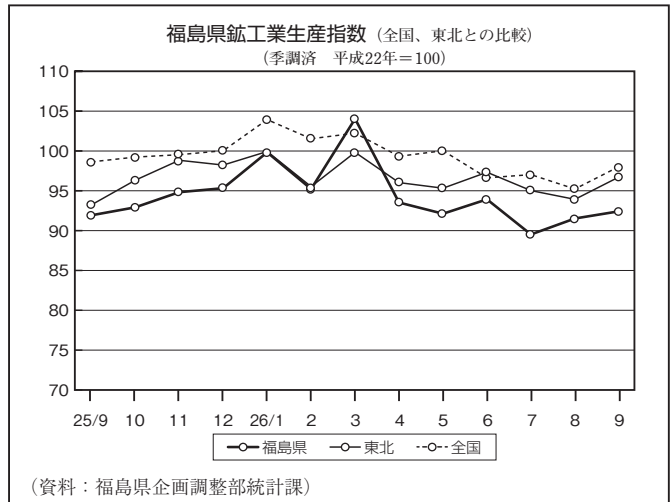
10月の県内新設住宅着工戸数は、1,178戸（前年同月比+0.2%）と5ヵ月ぶりで前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が554戸（同△18.3%）と5ヵ月連続で前年を下回ったものの、「分譲」が62戸（同+24.0%）と2ヵ月連続、「貸家」が556戸（同+24.7%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比、前月比とも増加

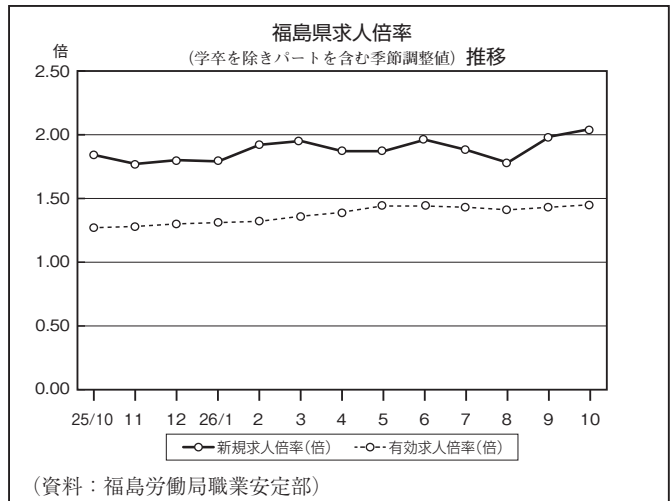
9月の鉱工業生産指数は、92.4（季節調整値）で前月比+1.0%と2ヵ月連続で前月を上回り、原指数が95.1で前年比+2.5%と2ヵ月ぶりで前年を上回った。業種別の季節調整値をみると、「繊維工業」（前月比+57.5%）など13業種で上昇したが、「化学工業」（同△10.7%）など6業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は55ヵ月連続前年比増

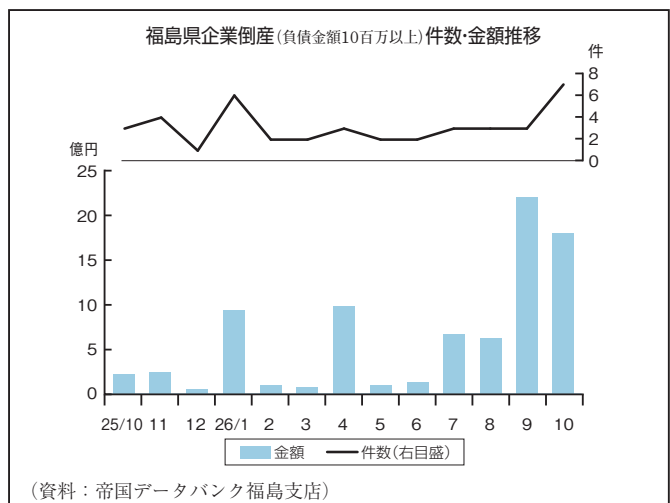
10月の新規求人倍率は、季節調整値が2.04倍（前月比+0.06ポイント）、原数値が2.27倍（前年同月比+0.25ポイント）となった。また、10月の有効求人倍率は、季節調整値が1.45倍（前月比+0.02ポイント）、原数値が1.56倍（前年同月比+0.2ポイント）と55ヵ月連続で前年を上回った。また、10月の雇用保険受給者実人員は6,411人（前年同月比△20.5%）と13ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数、負債額とも前年比で増加

10月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が7件（前年同月比+133.3%）、負債総額が17億76百万円（同+640.0%）となり、前年が低水準だったことから、件数、負債総額とも前年を大きく上回った。業種別では、卸売業、小売業、サービス業が各2件、不動産業が1件となった。

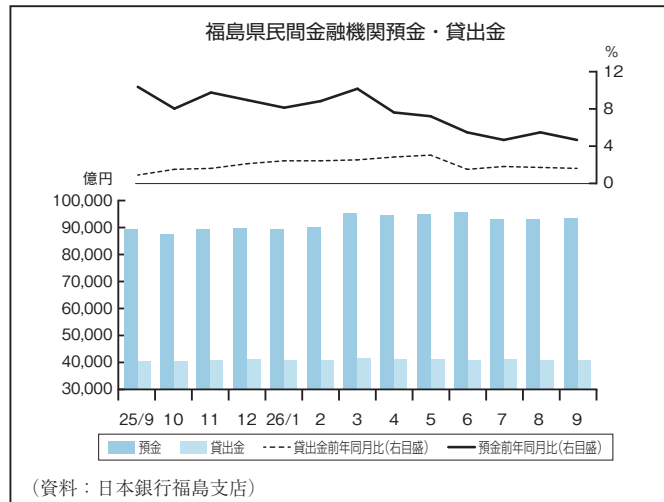


金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

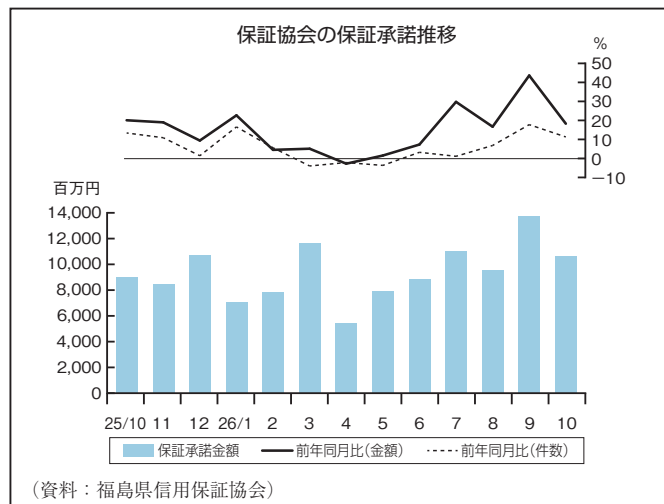
県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の9月末の預金残高は、9兆289億円（前年同月比+4.7%）と91ヵ月連続、貸出金残高は、4兆418億円（同+1.7%）と16ヵ月連続で前年を上回った。

※10月データは、平成27年1月22日公表予定。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

10月の保証承諾は、件数が882件（前年同月比+11.2%）、保証金額が105億77百万円（同+18.2%）となった。また、10月末日現在の保証債務残高は、件数46,564件（同△4.8%）、金額4,109億62百万円（同△8.5%）となった。一方、10月中の代位弁済は、件数が18件（同△35.7%）、金額が3億36百万円（同+3.1%）となった。



4. 業種別動向

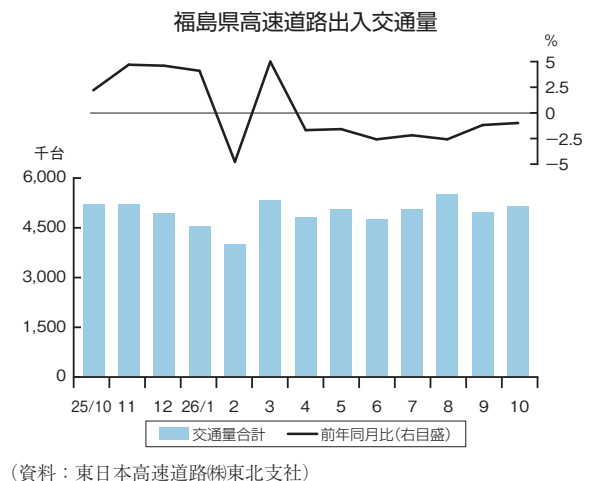
消費動向

家電量販店 10月の家電量販店の売上高は、パソコンや冷蔵庫、洗濯機などが前年を下回ったことなどから、合計でも前年を10%ほど下回った。

ホームセンター 10月のホームセンターの売上高は、エクステリアなどが引き続き前年を上回ったものの、飲食料品などが前年を下回り、合計でも前年を5%程度下回った。

旅行 9月の旅行取扱額は、国内、国外とも前年を上回り、合計では前年実績を10%以上上回った。

高速道路 10月の県内自動車道出入口台数は、合計



で5,144,492台（前年同月比△1.0%）と、7ヵ月連続で前年を下回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,293,013台（同+12.9%）と8ヵ月連続で前年を上回った。一方、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は412,559台（同△3.6%）と2ヵ月ぶり、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,763,740台（同△4.5%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は675,180台（同△7.5%）とともに7ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

福島空港 10月の福島空港国内定期路線の利用状況は、23,149人（前年同月比+8.9%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は8,911人（同△1.6%）、大阪便は14,238人（同+16.7%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

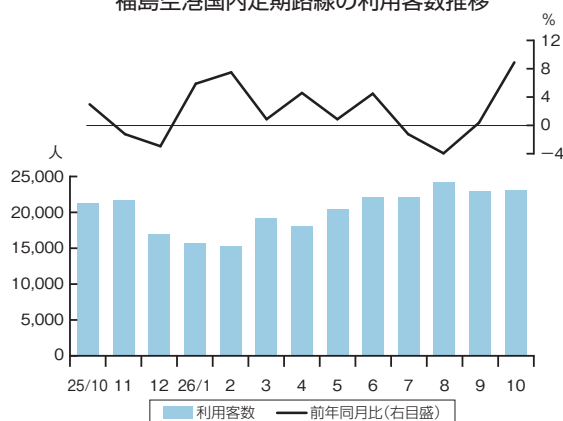
生産活動

化学 10月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国などの海外需要がほぼ横ばいで推移していることから、前年並みの生産水準となっている。一方、フッ素樹脂は、リチウムイオン電池の材料など、海外からの受注量が増えたことなどから、前年を上回る生産となった。

鉄鋼・金属 10月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年を15%ほど上回る水準となった。また、半導体向け電子材も、新興国の製品との競争が続いているものの、円安効果と昨年水準が低かったことから、前年を30%以上上回る生産を確保した。10月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いているものの、前年を10%以上上回る生産となった。陸船用バルブは、中国などの低価格品との競争が続いている中で、安定した受注量を確保したことから、前年を5%程度上回る生産となった。

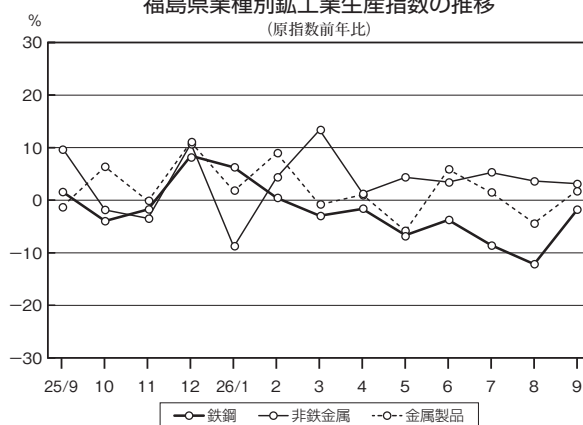
輸送用機械 10月の鋳造品は、トラック向けがタイヤの需要に回復の兆しが出ているのに加え、北米

福島空港国内定期路線の利用客数推移



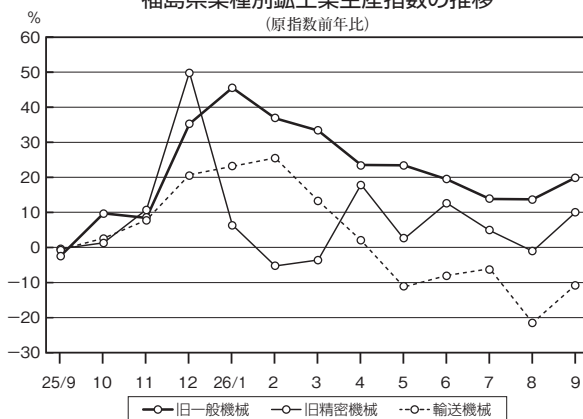
（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



（資料：福島県企画調整部統計課）

および国内向けの生産が堅調なことから、合計では前年を15%以上上回る生産となった。一方、オイルシールは、国内向けで消費増税後の反動減が続いていることなどから、合計では計画をわずかに下回る生産となった。

電気機械 10月の電気機械は、配電盤や誘導炉、

変圧器、モーターの生産がいずれも前年を上回ったことから、合計では前年を30%程度上回る生産となった。

情報通信機械 10月の情報通信機械は、国内向けモバイル基地局の生産が横ばいだったものの、国外向けのパソリンク（携帯電話の中継局）の生産が好調だったことから、合計では前年比で5%ほどの増産となった。

電子部品・デバイス 10月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要がやや回復してきたことや、生産ラインの増設による影響から、前年を80%以上上回った。

精密機械 10月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なことから、合計では前年を約20%上回る生産水準を保った。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、円安による海外受注の増加により、前年を10%ほど上回る生産となった。

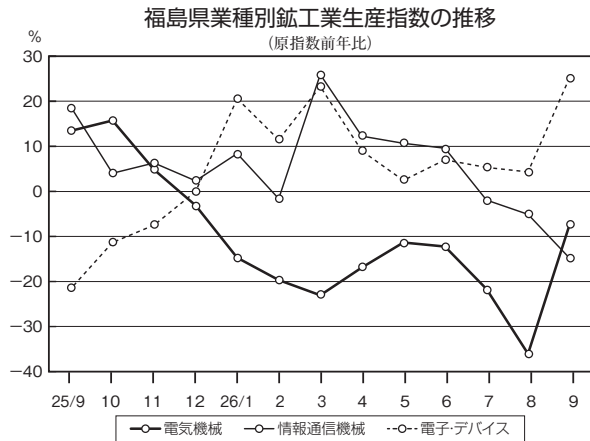
紙・紙加工品 10月の製紙は、消費増税前の駆け込み需要による反動減から、感熱紙などが減産となり、合計では前年を10%程度下回る水準となった。

清酒 10月の清酒移出数量は、1,193kl（前年同月比+0.6%）と2ヵ月連続で前年を上回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が517kl（同+6.5%）と2ヵ月連続で前年を上回ったが、一般酒（特定名称酒以外の酒）が677kl（同△3.5%）と7ヵ月連続で前年を下回った。

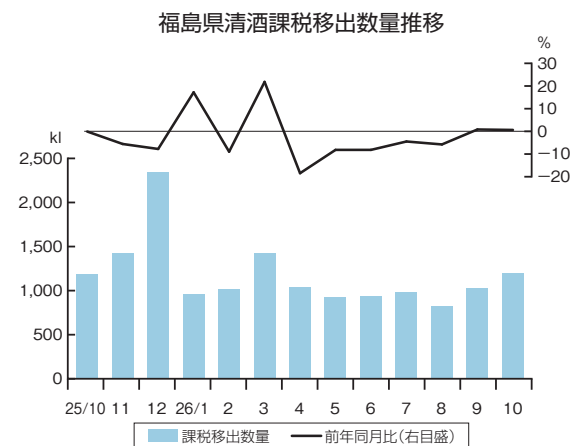
化合繊維物 10月の化合繊維物は、単価の高い製品にシフトしている影響などから、生産量が前年を5%ほど下回ったものの、売上高では前年を20%程度上回った。

ニット 10月のニットは、冬物商品の生産が中心となり、数量ベースでは前年を20%ほど下回ったものの、金額ベースでは前年並みの水準を保った。

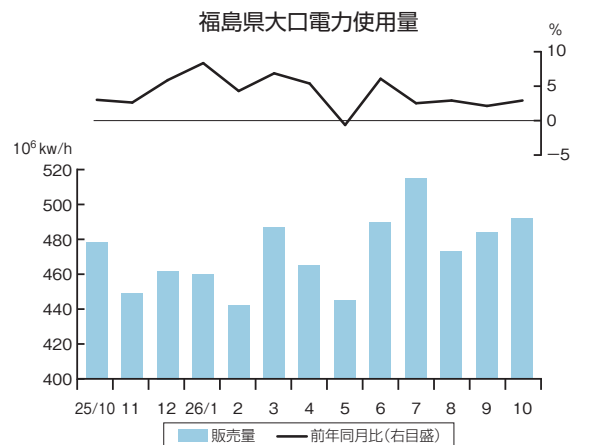
大口電力 10月の大口電力販売量は、492百万kw/h（前年同月比+2.9%）と5ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)

「非鉄金属」で102百万 kw/h（前年同月比+4.4%）、「電気機械」で78百万 kw/h（同+1.8%）、「輸送用機械」で57百万 kw/h（同+0.6%）、「化学」で48百万 kw/h（同+1.9%）、「一般機械」で26百万 kw/h（同+1.2%）、「紙・パルプ」で25百万 kw/h（同+41.7%）となっている。